

日本精神保健福祉士協会の取り組み  
～みやぎ心のケアセンターへの短期支援者派遣～

公益社団法人日本精神保健福祉士協会  
常務理事 木太 直人

## 1. 取り組みの経緯

東日本大震災の発災を受けて、日本精神保健福祉士協会（以下、「PSW 協会」という。）は被災地の視察と国、県、市との連絡調整を経て、2011 年度に宮城県東松島市及び福島県南相馬市における精神保健福祉活動を支援する目的で、構成員を継続的に派遣する活動を行った。

2012 年度は新たに東日本大震災復興支援本部を設置し、精神保健福祉士の全国組織として行う新たな活動を模索していたところ、復興支援本部にも参画をされているみやぎ心のケアセンター（以下、「センター」という。）の渡部裕一氏から、センターに県内市町村からの支援要請が多く届いており、いまのセンターの体制では十分に対応できないため、短期の臨時職員として PSW 協会の構成員を派遣できないかと打診があった。

これを受けて、同年 6 月に復興支援人材バンクを設け、支援活動に参画する構成員を募集したうえで、同年 7 月 2 日から派遣が始まった。

## 2. 実際の取り組み

2011 年度の被災地支援活動は、宿泊先や活動用の車両の確保等による自己完結型のものであったが、このたびのセンターにおける PSW 協会の活動は参加可能な構成員の名簿をセンターに提出することであり、実際の活動のシフト表の作成や支援自治体の選定、宿泊先の確保等はセンターにおいて担っていただくこととなった。ただし、支援活動に参加する構成員に対する活動前、活動中、活動後のサポートが欠かせないことから、復興支援本部としてサポート担当者と専用電話を設置するとともに、復興支援サポートメーリングリストを設置し、参加者相互の情報交換や復興支援本部からの情報提供の場とした。

派遣構成員の活動は、平日のみで 1 週間交替とした。当初は、仙台市の基幹センターを拠点とし、支援要請のある名取市、岩沼市、松島町、東松島市、塩竈市、大和町、女川町などに移動しての活動となった。2012 年 9 月 18 日以降はセンターにて石巻市内にホテルを確保されたことから、原則として石巻市を拠点とし、東松島市か女川町に派遣されているセンタースタッフを補佐する位置づけでの活動を行った。また、活動に係る移動交通費等の経費については、センターとの調整のうえ、活動日数が少ない場合の交通費を PSW 協会が行う復興支援活動募金から捻出するとともに、石巻市から活動場所までの移動や活動の足としてレンタカーを 1 台確保した。

派遣構成員の多くは、昨年度の本協会の被災地支援活動に参加経験のある精神保健福祉士であり、短期支援の限界を理解しつつ、センター職員の補佐に徹した活動となったと認識している。PSW 協会の短期支援者派遣活動は、センターにおける人員確保に一定の目途が立ったことから同年 12 月 28 日をもって終了した。

○活動期間：2012 年 7 月 2 日～2012 年 12 月 28 日

○派遣構成員数：28 人

○延べ活動日数：150 日